



深商通信

県下ナンバーワンの商業高校としての誇りと伝統！
深商で明るい未来を切り拓く！



〒366-0035 深谷市原郷80番地

TEL 048 (571) 3321

URL: <http://www.fukasyo-ch.spec.ed.jp>

FAX 048 (570) 1016

Mail: kyomu_10@fukasyo-ch.spec.ed.jp

全国大会出場

●美ら島沖縄インターハイ

○陸上競技部 7種目(7・8月)

男子 100mハードル

走り幅跳、三段跳

女子 800m

100mハードル

400mハードル

4×400mリレー

○テニス部2組(8月)

市川・栗原組堀越・成田組が出場

●簿記部

26年連続出場

全国高校簿記コンクール

●コンピュータ部

22年連続出場

全国高校情報処理競技大会

●ビジネス部

全国高校珠算電卓競技大会

ジュニアユース大会

名古屋 10月

●陸上競技部

男子100mハードル6位吉野廉

女子800m2位石井まい

(大会新記録)

県英語スピーチコンテスト優勝

第36回埼玉県商業高校英語スピーチコンテストのスピーチの部で3年商業科金香里さんが見事優勝しました。平成23年1月の全国大会(東京)に出場します。



深谷商業高校

全商一級三種目検定合格者数
埼玉県で6年連続1位
関東6位 全国20位

全国コンテスト・全商情報処理検定ボスター優良賞・佳作に入選

第44・45回情報処理検定試験ボスターコンテストにおいて、3年情報処理科山崎恵梨さんが優良賞、浅見あり沙さんが佳作に入選しました。

起業家育成・渋沢栄一の精神を継承

彩の国アントレプレナーシッププロモット事業

7月・8月・10月

未来の渋沢栄一を育成する埼玉県教育委員会の事業が行われています。参加生徒31人は、日本資本主義の父といわれる渋沢栄一の功績を学習し、記念館、誠之堂、清風亭などを巡りました。

深商では、同事業の中で簿記部が専門学校講師による日商簿記検定一級受験学習、コンピュータ部が国家試験であるITパスポート試験の学習に取り組んでいます。深商生は、高度資格取得で将来の起業家を目指しています。



商業高校の先生を目指して

教育実習

深商卒業後大学へ進学し、商業高校の先生を目指す2人が、9月、母校で教育実習を行いました。生徒たちは、先輩の先生から簿記や情報処理の授業を受け、若く輝き、逞しい先輩を見て自分たちの進路を真剣に考えていました。



平成21年度進路先

進路先	人数	割合
大学	74人	26.6%
短大	15人	5.4%
専門学校	113人	40.6%
就職	63人	22.7%
浪人等	13人	4.7%
計	278人	100%

主な進学先：筑波大学、青山学院大、中央大、日大、東洋大、専修大、東京経済大など

就職希望者63人全員が就職

昨年度就職率100%を達成

国際交流20年

オーストラリア・ウィクトリア州・オーバーニートン校生16人が来校

深商の国際

交流は1991年にスタートし、20年目を迎えています。1995年から姉妹校提携をし、相互交流を行っています。今年度は受入れの年で9月22日から28日の間、生徒16人(男子9人、女子7人)が本校を訪れました。16人の生徒と先生は深商生の家庭でホームステイし、日本の文化や家庭生活を体験しました。またホストファミリーの生徒と一緒に通学して、授業、部活動、日光見学などの日本体験をして感動の日々を過ごしました。また、オーストラリア・オーバーニートン校は、小学校から高校までの一貫校なので、近くの常盤小学校2年生・3年生の授業にも参加しました。



歓迎会



日光見学



深谷駅でのお別れ

来年は本校からオーストラリアに派遣の年です。深商は、これからの日本の将来を担う生徒の国際感覚の育成に力を入れてまいります。

情報会計専攻科

UI20
プログラミング・
コンテスト

初挑戦で入賞
(経済産業省主催)

全国で唯一の商業系専攻科である県立深谷商業高校情報会計専攻科の学生が作ったFAL(深谷エアライン)システムが入賞しました。全国の大学・専門学校45チームの中から入賞は4チームだけで、経済産業大臣賞に次ぐ商務情報政策局長賞を獲得する快挙です。FALシステムは、架空の深谷空港から実在の福岡空港までの5往復10便の航空会社予約・発券システムで、インターネット上からの予約、取り消し、発券を可能にしたものです。

コンテストは今年で31回目、大学や専門学校などの高いレベルのプログラムが集まる難関コンテストで、専攻科情報システムコース4人のチームは初挑戦で入賞という快挙を成し遂げました。



商務情報政策局長賞の受賞式

中学校に出前授業

幡羅中、南中へ

10月5・6日、本校の商業科の教諭が幡羅中学校と深谷南中学校へ出向き、3年生に商



幡羅中学校



南中学校

業の授業を行いました。内容は、「商業高校で学ぶ情報処理Excelを使った自動処理」と「電卓計算と財務諸表分析」でした。

深商の教諭2人がTTを組んで3年生に高校の商業の授業を分かりやすく教えま

した。中学生は、「電卓の様々な新しい機能を知ってよかった」「初めてプログラミングができ、楽しかった」などの感想文を送ってくれました。高校の先生から直接授業を教わり、高校での授業理解を深め、進路と高校入学に対する心構えを深めたことでしょう。

小学校交流事業

深商生 常盤小へ

毎年、深商の生徒たちが常盤小学校へ出向き、小学校の授業アシスタント・ティーチャーをしながら様々な交流を行っています。



パソコンを教える深商生

●コンピュータ部

パソコン授業のアシスタント(10月から12月まで計7日間)

●陸上部

小学校親善運動会の練習指導(9月に3日間) 持久走指導で伴走補助(12月予定)

●サッカー部

サッカー練習指導(10月に3日間)

高小交流事業を通して年齢差のある高校生と小学生が直接触れ合う貴重な体験になっています。



二層楼を写生する常盤小5年生



発見された棟札

「棟札」を発見

「二層楼・記念館尖塔から89年の時空を超えて」
深谷商業高校のシンボルで、大正建築の二層楼・記念館(国の登録有形文化財)から、建築の記録を記した「棟札」が発見されました。県の現場確認調査が夏季休業中に行われ、8月19日に中央尖塔上部の中心で見つかりました。大きさは25センチ×120センチで、スギ材二枚重ねを釘で打ち付けていたため前までの調査では見つけることができませんでした。
墨書の文字は、89年の時空を超えて再び私たちの目に触れました。文字は、二枚重ねであったため空気に触れていなかったのが幸いし極めて鮮明です。「棟札」には、「奉上册 大正11年1月18日 深谷町立商業学校新築工事」と記され、深谷に商業学校を創立するという深谷町長はじめ多くの人々の熱い情熱が伝わってきます。

「蛭友会同窓会」開催

深商高第4回 昭和27年卒業

平成22年10月24日 深谷グランドホテルにて蛭友会同窓会が開かれました。皆さんお元気で喜寿を迎えられ、会の前には43名の先輩が二層楼を見学、終戦直後の高校時代を思い出し、県内で唯一当時の姿で現存する学舎に感動していました。



喜寿を迎えられた 蛭友会の皆様

「姓りの建築」写真展を開催

深商高同窓会

二層楼を再発見する写真展が深谷駅ギャラリーで開かれました。平成22年11月16日、20日

